



熊本火の国ラウンド



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

H29,11,23 (木) 熊本県民交流館パレア9F

熊本地震から約1年半。全国から多くの支援・応援をいただき、「創造的復興」に向けて前進している熊本で、2年ぶりに「九州体育・保健体育ネットワーク研究会熊本火の国ラウンド」が開催できました。関係者の皆様に深くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、佐藤 豊先生を始め、福岡県、佐賀県、大分県、鹿児島県からも参加していただき、25名で校種や立場を超えて一体となり「主体的・対話的で深い学び」が展開できました。



1 トピックス：「新学習指導要領における体育科・保健体育科のポイント解説」

桐蔭横浜大学 佐藤 豊先生より、改訂された新しい学習指導要領についてポイントを解説していただきました。「体育・保健体育科の改訂の要点」「育成すべき資質・能力の三つの柱」等々、テンポよく話していただきました。また「わかる・できるをつなぐ知識の構造化」として、「概念知」「方法知」「具体知」の3つの段階での整理を授業場面のスライドで説明されました。さらに、年間指導計画の中で「カリキュラムマネジメント」例を示されたり、授業設計・構成力（学習指導案の要件）や教授技術の基礎条件・内容条件の視点チェックリストを提示されたりして、今後の授業について熱く語っていただきました。参加者からは「なるほど～分かった。そういうことね。」という表情やつぶやきが見られ、あっという間の50分でした。（授業もこうでありたい！）

2 ワークショップ：「第56回九州学体研【熊本大会】の振り返り&まとめ

公開授業者3名の先生方に、授業を振り返っての気づきや感想などを発表してもらいました。

- 熊本市立出水南小学校：藤本祥太先生：小学校2年生：ゲーム「ボールゲーム」
学びを確かなものにするために、学習活動における支援や学習計画作成の工夫、そしてメインゲームにつなげるための手立て等について話されました。
- 熊本市立力合中学校：米田創一朗先生：中学校3年生：「体育理論」(文化としてのスポーツの意義) 東京オリンピック・パラリンピックを始め、ラグビーやハンドボールなどの今後開催される世界規模の大会への関わり方や役割について、「個人思考→グループ交流→個人思考→まとめ・振り返り」という授業展開の工夫等について話されました。
- 熊本市立鹿南中学校：一安晋太郎先生：中学校3年生：陸上競技「ハードル走」
本時の課題を達成させる手立てとして、ねらいに迫る意図をもった2つのめあてを明確化し、ペア学習が充実するための授業展開の話でした。また、ご自分が研究されている「メタ認知」についても画像等を踏まえて説明していただきました。



その後、6つのグループで3本の発表や佐藤先生からの説明を受けて「今後の授業の在り方」について協議を行いました。中心的話題は、「主体的・対話的で深い学び」とは何なのか？ということであり、互いの意見や考え、また日頃の悩みなども出していきました。

最後に、佐藤 豊先生から、「主体的・対話的で深い学び」のイメージや系統性、「思考力・判断力・表現力等」についてまとめていただきました。

3 おわりに

今回の熊本火の国ラウンドには、小中学校の先生方、大学関係の先生方、教育委員会関係の先生方、大学院生に参加していただき、盛会のうちに無事終了することができました。（初参戦者が5名。嬉しい限りです。）学びを共有された参加者の方々が、さらに体育を盛り上げていこうというエネルギーになったのではないかと感じています。

また、前日に行った情報交換会には、20名の方々に参加していただきました。ラウンドには参加されずとも、お酒を酌み交わす会には参加された方々もあり、火の国らしさを感じるとともに、遅くまで熊本の夜をご堪能いただきありがとうございました。

最後になりましたが、大変お忙しい中、運営や準備等にご協力いただきました先生方を始め、参加してくださった全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【文責：熊本県事務局 北本】

